



# 須賀川市【福島県】 歴史文化基本構想

■ 策定年度：平成31年3月 ■ 人口：75,853人 ■ 市域面積：279.43km<sup>2</sup>  
■ 担当課：須賀川市文化スポーツ部文化振興課（平成31年4月現在）



須賀川市では、市内各地域に存在する指定・未指定の文化財等を「歴史・文化資源（＝地域の宝）」と位置付け、本市が持つ歴史を視座に、それらを明らかにすることを通し、地域に住む人々が誇りや愛着を持ってこれらの保存・活用に取り組むとともに、歴史や文化を生かしたまちづくりを進めていくための長期ビジョンとして策定した。

## 5 歴史文化を表す つのキーワード

交通の要衝、豊かな自然、古代・中世の戦略拠点、  
「ひと」の結びつき、祈りの継承

### 課題

- ・ 歴史・文化資源に対する意識の向上、資源そのものの周知啓発
- ・ 歴史・文化資源の保存・活用の在り方についての検討の具体化

### 保存活用方針

- ・ 「大切にしたい」と思う心の醸成
- ・ 歴史・文化を生かしたまちづくりの仕組みの構築
- ・ 体制の整備と連携の推進

## 保存・活用のための取り組み

### 歴史・文化を知る

歴史・文化に関する継続的な資料・情報収集と調査研究に取り組むとともに、デジタルアーカイブ化を検討する。また、歴史・文化の普及啓発を図るため、講演会等を開催するほか、住民や団体等による研究成果等の発表等の支援を行うとともに、学校教育や公民館等と連携しふるさと学習の推進を図る。



### 歴史・文化をつなげる

貴重な歴史・文化資源を後世に引き継いでいくため、後継者育成に係る仕組みづくり及び映像による記録保存等の取組を推進する。また、防災・減災及び防犯対策を推進するとともに、博物館等拠点となる施設の整備と充実を図る。



### 歴史・文化を生かす

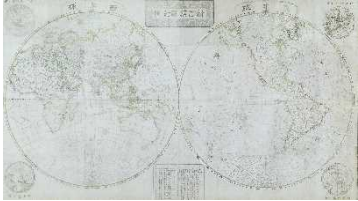
歴史・文化資源を市民協働により保存・活用していくため、市民文化遺産制度や市民歴史文化サポーター制度の構築を図る。また、ヘリテージマネジャー等の育成や学芸員等専門職員の確保と連携を図るとともに、史跡や名勝等の整備及び保全管理を促進する。



### 歴史・文化を広げる

歴史・文化に対する興味関心が広げられるよう、データベースの活用による情報発信を図るとともに、統一した案内板などのガイドサインの再構築等を図る。また、多様な世代が歴史・文化に親しむ機会の創出を推進するとともに、民間団体や自治体等との連携を強化し、広域的な事業展開や情報発信を目指す。

## ▲ 歴史・文化の特性



須賀川市は、各時代の主要道が通るとともに、会津や浜通りにもつながる街道と交わる交通の要衝だった。このため、「みち」との関わりの中で「まち」が形成され、交流が盛んになることで、「ひと」と「ひと」との結びつきが生まれ、文化の黎明を迎えた。一方で、豊かな自然を背景に、民俗芸能や石造物が多く残され、守り伝える心が「さと」に息づいている。このことから、本構想では、歴史・文化の特性を以下の3点にまとめた。

### 歴史・文化の特性

- ① 「みち」から広がる「まちづくり」
- ② 「くらし」を織りなす「ひと」
- ③ 「さと」に息づく「いのり」

## ▲ 策定後の成果（見込まれる効果）

### ① 歴史・文化への理解と愛着の深化

策定にあたり、歴史・文化資源についての各種調査、また歴史や文化に関する講演会などを実施したことにより、市民に歴史や文化に対する理解や愛着をもってもらうきっかけとなった。今後も引き続き、市民からの情報提供や意見交換などを進め、歴史や文化に対する理解や愛着を深めてもらうよう各種施策を進める。



### ② 歴史・文化資源の総合的把握

策定にあたり、歴史・文化資源に関する文献・資料の整理及び市民へのアンケート調査及び聞き取り調査を実施し、歴史・文化資源の総合的把握を目指した。今後はこれらの情報を参考としながら、文献や資料の分類等について精査していくとともに、必要に応じて現地調査するなど、引き続き情報の収集、把握に努めていく。



### ③ 歴史・文化を生かしたまちづくり

本構想において、本市の歴史・文化の特性や自然・環境からの特徴など、新たな魅力を発見することが出来た。今後は、歴史や文化を通じた様々な表情を持つまちとして発信力を高めることが期待できるとともに、地域ならではの歴史・文化資源を生かしたまちづくりの推進が期待される。

